



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

若手ワーキンググループ

はじめに

コロイドおよび界面化学部会の若手ワーキンググループ（若手WG）は、若手研究者や学生間の人的交流を図り、研究活動の活性化を目指した取り組みを行っています。

若手WGの主な活動には、

- ①「未来のコロイドおよび界面化学を創る若手討論会」（若手討論会）の企画と運営
 - ②部会行事「コロイドおよび界面化学討論会」での「若手口頭講演賞」の選考（大学院生あるいは35歳以下の研究者を対象）
- があります。

しかし、2020年度に引き続き2021年度も新型コロナウイルス感染症の影響が終息せず、「コロイドおよび界面化学討論会」はオンラインでの開催になりました。それに伴い、討論会の前日に実施してきた若手討論会も2年連続で開催できなくなりました。

WEB セミナーシリーズ 2021

このような状況の中、若手WGでは「コロイド界面化学若手WEBセミナーシリーズ」を開催してきました。これらのセミナーでは参加費を無料とし（事前の参加登録は必要）、学生でも気楽に参

加できる環境を目指しました。また、当部会の科学奨励賞や技術奨励賞を受賞された若手研究者の皆様にご講演をお願いしてきました。2020年度に開催した3回のセミナー（近藤篤先生、菱田真史先生、田中佳祐先生）に引き続き、2021年度も3回のセミナーを実施しました。

第1回 10月6日 渡邊 智先生（熊本大学）「有機半導体分子の相図、Gibbs吸着、そして液相結晶成長」

第2回 11月2日 鈴木大介先生（信州大学）「若手会などの交流を通じて発展させてきた高分子微粒子の研究」

第3回 11月26日 加賀谷真理子先生（花王）「身近な界面化学～企業研究の面白さ～」

いずれの回も平日の夕方に開催しましたが、50名を超える皆様にご参加いただきました。特に、第3回は就職活動を控えた学生からの注目度が高かったようで、87名の参加者数（過去最高）になりました。また、各回とも学生のみならず、企業に所属されている研究者、技術者の皆様、さらにはアカデミアに所属されているベテランの先生方にもご参加いただきました。

開催後に実施したアンケートを拝見したところ、

- ・博士後期課程に進学して研究を続けることの“大変さ”や“やりがい”を知

ることができた。

- ・企業の第一線で活躍されている先生のお話を伺い、企業研究ならではの魅力を感じた。

など、キャリアの形成に関連づけたコメントを数多く頂戴しました。講師の先生方ならびにご参加いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

おわりに

2022年度の「コロイドおよび界面化学討論会」は広島大学東広島キャンパスで開催される予定です（9月20～22日）。若手討論会はその前日（9月19日）に、広島市中心部のJMS アステールプラザ広島市国際青年会館で開催する予定です。対面でのイベントの多くはこの2年間、中止を余儀なくされてきましたが、2022年度には飲食も交えての人的交流が再開できることを祈念しています。

若手WGとしては、当部会の将来を担う若手研究者の研究活動や人的交流を引き続き支援して参ります。なお、部会のホームページからも開催情報を随時、発信いたしますので、併せてご参照下さい。

〔若手ワーキンググループ
酒井健一（東京理科大学）・
村上 良（甲南大学）〕

© 2022 The Chemical Society of Japan